

最近の景況・業況の動向についてのアンケート調査

当所では、管内の景気動向を把握するため、議員・評議員企業に対し、四半期毎に標記アンケートを行っております。つきましては、ご多忙の折、誠に恐縮とは存じますが、当調査にご協力を賜り、来る12月6日(金)までにメールまたはFAXで返送頂きますようお願い申し上げます。
なお、調査票は、FAXとメールを併用し、ご案内しておりますので、ご確認下さい。

貴社名: _____

※本調査における「前期」、「今期」、「来期」は以下の期間を指しますので、ご注意ください。

- 前期=令和6年度第2四半期(令和6年7月～9月)
- 今期=令和6年度第3四半期(令和6年10月～12月、但し12月は見込み)
- 来期=令和6年度第4四半期(令和7年1月～3月)

業種について

貴社の主たる業種について、1つお選び下さい。

- 1. 製造業
- 2. 建設業
- 3. 小売業
- 4. 卸売業
- 5. サービス業

景況・業況の動向について	I. 今期(第3四半期)の状況 前期(第2四半期)と比べた 今期(第3四半期)の状況	II. 来期(第4四半期)の見通し 今期(第3四半期)と比べた 来期(第4四半期)の見通し
	1. 景況感	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
2. 売上高	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少
3. 売上単価	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下
4. 資金繰り	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
5. 採算性(経常利益)	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
景況感(今期)の選定理由をご記入下さい。		
景況感(来期)の選定理由をご記入下さい。		

経営上の問題点について

今期(第3四半期)、直面している問題点についてお選び下さい。(複数回答可)

- 1. 大企業の進出や過当競争による競争の激化
- 2. 仕入単価の上昇
- 3. 経費の増加
- 4. 販売単価の低下・上昇難
- 5. エネルギーコストの増加
- 6. 原材料の高騰
- 7. 需要の停滞、売上の減少
- 8. 従業員の確保難
- 9. 後継者の育成・確保
- 10. その他()

* 問題点や対応策を具体的にご記入下さい。

副業・兼業人材の活用について

厚生労働省の副業・兼業に関するガイドライン、Q&A等はQRコードから



人手不足に加え、特定の分野・業務での人材不足を懸念している声も聞かれる中、外部からの副業・兼業人材の活用に関心が高まっています。貴社の状況についてお選び下さい。

問1. 現在の事業所全体の雇用状況はどのような状態ですか。1つお選び下さい。

- 1. 過剰状態
- 2. 適正水準
- 3. 不足状態

問2. 社外から副業・兼業人材を受け入れて活用していますか。1つお選び下さい。

- 1. 活用中
- 2. 活用予定
- 3. 検討中
- 4. 活用しない(予定なし)
- 5. 活用をやめた
- 6. 不明
- 7. その他()

※いずれを選択された場合であっても、以下の問3～5についてご回答下さい。

問3. 活用するとの仮定を含め、副業・兼業人材に担わせたい業務をお選び下さい。(複数回答可)

- 1. デジタル化・DX化の推進
- 2. 販売促進・プロモーションの実施
- 3. 新商品開発への指導・対応
- 4. 技術・技能面への指導・アドバイス
- 5. 新規事業・業務の企画・立案
- 6. デザイン・意匠関係の提案・変更
- 7. 業務プロセスの改善・高度化
- 8. 経営課題の抽出・経営戦略の助言
- 9. 組織・労務の見直し・改革
- 10. 雇用・採用面の提案・強化
- 11. 財務体質の改善・強化
- 12. 外国企業・外国言語への対応
- 13. 不明・特にない
- 14. その他()

問4. 活用するとの仮定を含め、副業・兼業人材に期待する点、効果をお選び下さい。(複数回答可)

- 1. 人手不足(人材不足)の解消・緩和
- 2. 客観的・対外的な視点・評価の獲得
- 3. 新たな知識・知見・スキルの導入
- 4. 新たなネットワーク・人脈の構築
- 5. 業務効率化・生産性の向上
- 6. 首都圏や大手企業の人材活用
- 7. 従業員のスキルアップ・人材育成
- 8. 働き方改革の促進、労働時間の短縮
- 9. 企業文化・風土の変革・改革
- 10. 企業イメージ向上、採用面への効果
- 11. 不明・特にない
- 12. その他()

問5. 副業・兼業人材を活用する際の課題・懸念材料についてお選び下さい。(複数回答可)

- 1. 機密情報漏えい
- 2. 技術・ノウハウの流出
- 3. 自社や組織に対する利益相反
- 4. 担当業務の選定
- 5. 受入人材の募集・確保
- 6. 受入人材の定着、要求事項の達成度
- 7. 契約・諸手続き
- 8. 規則・諸規程の整備
- 9. 受入人材の労務管理上のリスク
- 10. 社内人材の流失
- 11. 社内外の合意形成
- 12. 社内人材との調和・親和性
- 13. 不明・特にない
- 14. その他()

* 各設問の回答理由のほか、副業・兼業、また、雇用・人材全般に関するご意見をお聞かせ下さい。

令和7年の県内の景気について

令和6年能登半島地震から1年となりますが、来年の県内の景気はどのようになると予測しますか。

- 1. 良くなる
- 2. 少し良くなる
- 3. 変わらない
- 4. 少し悪くなる
- 5. 悪くなる

■県内の景気予測の理由に加え、国内外の景気全般などに関するご意見をお聞かせ下さい。

・返送先: メール research@kanazawa-cci.or.jp、FAX 076-261-6500 * 締切 12/6(金)

・問合先: 金沢商工会議所 広報・調査グループ TEL 076-263-1155 担当: 清水